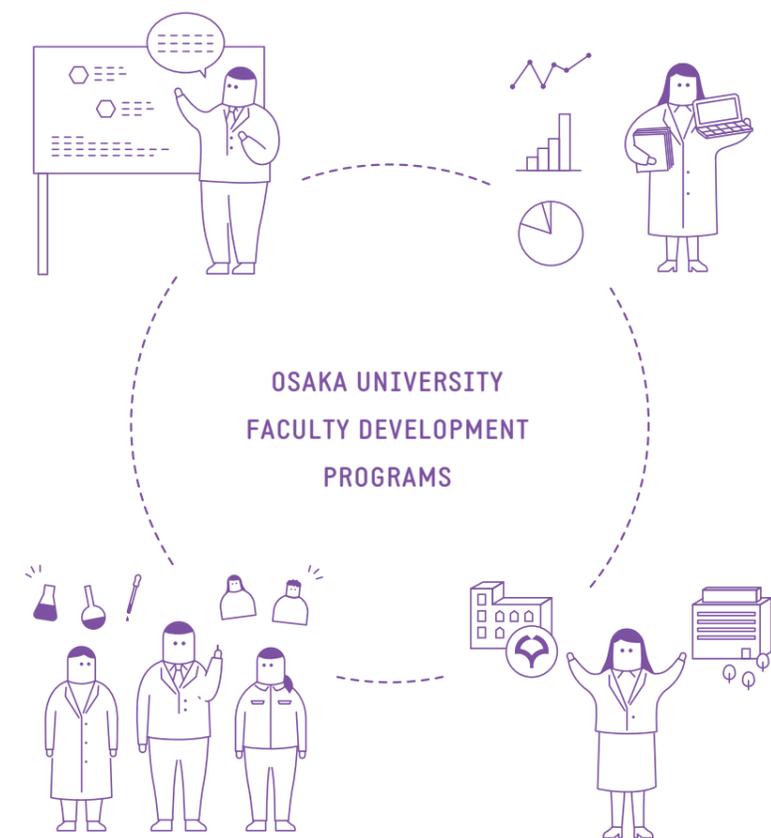


大阪大学教員のための

# ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、  
開催部局にお問い合わせください。

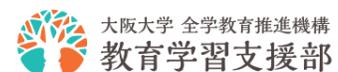


発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係  
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



2022 年度

4 月～9 月

## 大阪大学教員の皆様へ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの日常生活は一変しましたが、本学では、教育・研究活動への影響を最小限とするため、できるだけ平常時に近い状態で大学活動を行えるよう対応を進めてきました。また、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中では、これまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であると考えています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、コロナ新時代に対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

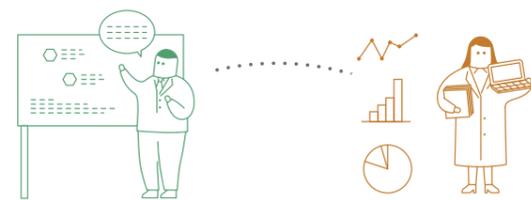
### 概要

## 大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

### 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



OSAKA UNIVERSITY  
FACULTY DEVELOPMENT  
PROGRAMS

### 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

### 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

### マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

## 新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

ウィズコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2022年度前期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)  
田中敏宏

### 🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

#### 〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ 教育能力 開発プログラム ..... 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム ..... 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

### 🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



#### 「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

#### 修了証書

殿  
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日

大阪大学理事・副学長

### 📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します(上限120時間)。

詳しくは、こちら → [https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_program/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/)

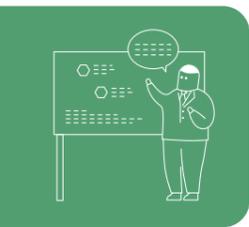
📄 研修プログラム一覧〈令和4年度上期(2022.4～2022.9)通年開催分〉

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
教育	P.6	○	理学教育カリキュラム反省会	オンライン	4月6日 13:30-16:00	2.5	150名	日本語	理学研究科
教育	P.6	—	メディア授業のための講義動画制作(初級編)	オンライン	4月7日 16:00-17:30	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	—	メディア授業のための講義動画制作(中級編)	オンライン	4月8日 16:00-17:30	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	4月14日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	4月19日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.13	○	総合解析センター説明会(機器分析講習会)	吹田 オンライン	4月(実施日未定) 13:30-16:30	3	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.17	○	産研安全講習会	吹田	4月下旬または 5月上旬 10:00-12:00, 13:15-15:15	4	50名	日本語	産業科学研究所
5月									
教育	P.7	—	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	5月9日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
教育	P.7	—	障がい学生支援	オンライン	5月26日 12:15-13:30	1.25	100名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
マネジメント	P.17	—	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.17	—	実験系廃液・排水の取扱い	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	非化学系のための化学薬品取扱講習	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	詳解：化学物質安全取扱講習	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター豊中分室編)	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター吹田分室編)	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	電気コンセントと電気配線の安全講習	吹田 豊中 オンライン	5月中旬 ～下旬	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	○	蛋白研安全講習会	吹田又は オンライン	5月頃 (日時未定)	1	200名 程度	日本語	蛋白質研究所
教育	P.8	○	高等司法研究科授業見学会	豊中又は オンライン	5月～6月	1.5	各回 数名程度	日本語	高等司法研究科
6月									
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	6月9日 15:00-16:30	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.16	—	阪大ブランドの発信地としての大学博物館	豊中	6月14日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
社会学連携	P.16	—	オンライン時代の研究広報とアウトリーチ	オンライン	6月24日 15:00-16:00	1	50名	日本語	免疫学フロンティア 研究センター
マネジメント	P.19	○	令和4年度大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	オンライン	6月中旬	2	制限なし	日本語	総務部 人事課職員係
マネジメント	P.20	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	豊中又は オンライン	6月下旬～ 7月上旬頃	1	制限なし	日本語	理学研究科
7月									
マネジメント	P.20	—	ハラスメント加害者リスクを回避する方法について	吹田 オンライン	7月5日 13:30-15:00	1.5	対面：30名 オンライン： 制限なし	日本語	工学研究科
マネジメント	P.20	—	ハラスメントを回避する方法について (被害者・傍観者にならないために)	吹田 オンライン	7月19日 13:30-15:00	1.5	対面：30名 オンライン： 制限なし	日本語	工学研究科
マネジメント	P.21	—	ハラスメント防止等に関する研修会	未定	7月頃 (日時未定)	2	対面：100名 オンライン： 制限なし	日本語	人権問題委員会

※掲載内容は2月8日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、  
もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
8月									
教育	P.8	—	自殺防止セミナー	吹田 オンライン	8月23日 13:30-15:00	1.5	対面：30名 オンライン： 制限なし	日本語	工学研究科
教育	P.8	—	シラバスの書き方	オンライン	8月23日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	8月24日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	—	Introduction to Course Video Production	オンライン	8月26日 13:00-14:30	1.5	10名	English	全学教育推進機構 教育学習支援部
9月									
教育	P.9	—	大学におけるカルト問題	オンライン	9月1日 13:30-15:00	1.5	60名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.9	○	国際交流科目担当教員及び TA予定者対象オリエンテーション並びにFD研修	オンライン	9月5日 13:00-14:00	1	20名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
研究	P.13	—	産学共創により研究成果を社会実装するには！	オンライン	9月20日,27日 16:00-18:00	計4	100名	日本語	共創機構
教育	P.9	—	学生の不適応	オンライン	9月22日 13:00-14:30	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.7	—	障がい学生支援	オンライン	9月29日 12:15-13:30	1.25	100名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
マネジメント	P.21	○	公的研究費の使用に関するコンプライアンス教育について	豊中	9月頃(日時未定) 同内容で2回実施	0.75	80名	日本語	人文学研究科
教育	P.10	—	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)	オンライン	9月頃 13:00-16:00	2.5	ライブ配信300名 後日CLE配信予定	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
マネジメント	P.21	—	未定(同和問題に関するテーマで講演)	未定	9月頃 (日時未定)	2	対面：100名 オンライン： 制限なし	日本語	人権問題委員会
複数月開催									
研究	P.13	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	吹田又は オンライン	8月～9月に 4回開催予定	1.5	20名	English	微生物病研究所
未定									
マネジメント	P.22	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会 (初任者FD)	オンライン	日時未定	3	制限なし	日本語	基礎工学研究科
マネジメント	P.22	○	工学研究科新任者研修	吹田	日時未定	6	約30名	日本語	工学研究科
随時・定期開催									
教育	P.10	—	コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—	オンライン	随時	1	各回 数名程度	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.14	○	生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)	オンライン	毎週1回木曜日 12:15-13:00	0.75	300名まで	日本語/ English	生命機能研究科
教育	P.10	○	FD研修会	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回1 程度	各回 60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.14	○	蛋白研コロキウム	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回1 程度	各回 60名程度	日本語	蛋白質研究所
教育	P.11	—	メディア授業講習会	オンライン	2022年4月1日～ 2023年3月31日	3	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.11	—	授業支援システム(CLE)入門講座	オンライン	2022年4月1日～ 2023年3月31日	1.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.11	—	授業支援システム(CLE)応用講座	オンライン	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	—	オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)	オンライン	2022年4月1日～ 2023年3月31日	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部 サイバーメディアセンター
研究	P.14	—	アドバンストセミナー	吹田又は オンライン	毎月1回 (3月と8月を除く) 16:00-17:00	1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
研究	P.15	○	不正防止について	オンライン	4月中旬～ (適宜)	0.33	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
研究	P.15	○	微研集談会	吹田又は オンライン	毎月第4火曜日 (18,12月を除く) 16:00-17:00	1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
研究	P.15	—	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンライン	2022年5月中旬～ 2023年3月31日	1	制限なし	日本語	附属図書館、 経営企画オフィスURA部門



## 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 理学研究科

## 理学教育カリキュラム反省会

講師：中澤康浩(理学研究科 教授)  
橋爪章仁(理学研究科 教授)

オンライン 4月6日 13:30-16:00

〈キーワード〉新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉新カリキュラム及びプロジェクト教育に関する報告・議論  
大阪大学における教育改革等について議論

《問合せ先：理学部 学務係》 [ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：3月中旬に理学研究科全教員にメール配信するため、事前の受講申込の必要はありません。》

150名 2.5時間 日本語 オンライン

## メディア授業のための講義動画制作（初級編）

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 4月7日 16:00-17:30

〈キーワード〉講義動画制作、教材作成

〈概要〉新型コロナウイルスの感染拡大によるメディア授業の増加をきっかけに、教員自身が講義動画を制作してメディア授業を実施する機会が増えています。本セミナーでは、パワーポイントを使ってスライド作成から動画の書き出しまでを行うことで、講義動画制作のプロセスを理解することを目指します。具体的には、①パワーポイントによるスライドの作成方法、②パワーポイントへの音声入力、③パワーポイントによる動画の書き出し、④CLE(Echo)への動画のアップロード及び公開作業ができるようになることを目指します。また、本セミナーでは参加者にサンプル教材を配布し、ハンズオン形式でセミナーを受講していただきます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 オンライン

## メディア授業のための講義動画制作（中級編）

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 4月8日 16:00-17:30

〈キーワード〉講義動画制作、教材作成

〈概要〉新型コロナウイルスの感染拡大によるメディア授業の増加をきっかけに、教員自身が講義動画を制作してメディア授業を実施する機会が増えています。本セミナーでは、パワーポイントを使った動画制作のブラッシュアップに加え、アプリや撮影機材を活用した講義動画制作の手法について理解します。具体的には、①配色やアニメーションを効果的に使用した講義スライドのデザイン、②共有アプリやカメラを使った講義動画制作、③講義動画のための字幕作成、④著作権に関する注意点について理解します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 オンライン

## アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 4月14日 13:30-15:00、6月9日 15:00-16:30

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

## グループ学習を授業に導入する

講師：西森年寿(人間科学研究科 教授)  
大山牧子(全学教育推進機構 助教)

オンライン 4月19日 13:30-15:00、8月24日 13:30-15:00

〈キーワード〉グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明するとともに、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

## 外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

講師：魚崎典子(国際教育交流センター 特任准教授)

オンライン 5月9日 13:30-15:00

〈キーワード〉外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

〈概要〉政府は「日本再興戦略2016」の中で外国人留学生の日本国内での就職率を向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題と その解決策について学びます。

〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合せ先：国際教育交流センター》 [career@ciee.osaka-u.ac.jp](mailto:career@ciee.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：受講希望者は、キャリアセンターHP (<http://career.osaka-u.ac.jp/staff/>) のセミナー申込サイトより申し込みください。》

40名 1.5時間 日本語 オンライン

## 障がい学生支援

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 5月26日 12:15-13:30、9月29日 12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とする。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたい。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談支援センター 庶務係》 [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：1か月程度前に通知する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

100名 1.25時間 日本語 オンライン

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月8日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

限定 法学系全教員

### 高等司法研究科授業見学会

講師：高等司法研究科 FD・教育企画委員会が選定した教員複数名

意中 又は オンライン 5月～6月

〈キーワード〉説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを、目的とします。

《問合せ先：高等司法研究科 教務係 [✉hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員に対してメール発出され、メールにて申し込む》

各回  
数名程度



1.5時間



日本語



対面又は  
オンライン

### 自殺防止セミナー

講師：根岸和政(工学研究科 コンプライアンス室 講師)

吹田 オンライン 8月23日 13:30-15:00

〈キーワード〉孤立無援感の危機、メンタル不調の早期発見、共感力

〈概要〉大学生の死亡原因の第一位は自殺となっている日本の現状も踏まえ、学生のみならず、大阪大学全構成員の心の健康維持増進に寄与することを目的として、メンタル不調の早期発見、孤立無援感を払拭する在り方、関わり方について、「共感の重要性」を中心に、ご紹介させていただきます。自殺防止に関して、ご質問のある方はお申し込み時にお書き添えください。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室 [✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
[✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》

対面30名  
オンライン制限なし



1.5時間



日本語



対面/  
オンライン

### シラバスの書き方

講師：大山牧子(全学教育推進機構 助教)

オンライン 8月23日 13:30-15:00

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。

\*参加者はご自身のシラバス(どれか1つ)を持参ください(ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください)。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



制限なし



1.5時間



日本語



オンライン

### Introduction to Course Video Production

講師：GONDO Chie(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 8月26日 13:00-14:30

〈キーワード〉course video production, content creation

〈概要〉The purpose of this seminar is to help instructors create course videos. In this seminar, we will provide you the basic process of creating course videos by using Microsoft PowerPoint.

To attend this seminar, please install the Microsoft Office 365 via My Handai.

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：Please register at the website of the TLSC (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) by 3:00 p.m. on the day before.》



10名



1.5時間



English



online

### 大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンライン 9月1日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生に対する予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 [✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：1か月程度前に通知する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

60名



1.5時間



日本語



オンライン

限定 国際交流科目担当者及び国際交流科目に興味のある構成員

### 国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修

講師：近藤佐知彦(国際教育交流センター 教授)  
石倉佑季子(国際教育交流センター 准教授)

オンライン 9月5日 13:00-14:00

〈キーワード〉国際交流科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、その単位互換のため、授業の質保証が強く求められています。また英語で開講されること、本学の一般学生も同時に受講することなど、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、国際交流科目特有の問題や悩みをテーマとして取り上げ、参加者同士で実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。

《問合せ先：国際教育交流センター 短期プログラム開発研究チーム [✉kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：8月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定。  
メールにて申し込むこと(新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)。》

20名



1時間



日本語



オンライン

### 学生の不適応

講師：水田一郎(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンライン 9月22日 13:00-14:30

〈キーワード〉心理的問題、環境ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉まず、上記テーマ(学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応)について講義形式で学ぶ。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深める。

〈目的〉本研修は、学生がキャンパスライフで陥りやすい不適応とその背景、対応について、基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 [✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：1か月程度前に通知する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

40名



1.5時間



日本語



オンライン

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月8日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)

講師：未定

**オンライン** 9月頃 13:00-16:00

〈キーワード〉ブレンデッド教育、メディア授業、新型コロナウイルス対応、アクティブ・ラーニング、教育改革、等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として、ブレンデッド教育等に関する情報提供を行います。
2. 分科会（主な研修テーマ：ブレンデッド教育の模索と課題等）

《問合せ先：教育・学生支援部教育企画課 総務係 ☐gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7～8月頃に各部署宛に受講者募集に係る通知を予定。》



### コンサルティングサービス — 授業改善などのための個別相談 —

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

**オンライン** 随時

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉授業デザインやシラバス、教授法、評価など、教育に関する様々なご相談を承っております。ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽に申込先のウェブホームからご連絡ください。

- 【これまでのご相談例】・リアルタイムのオンライン授業でグループ学習を実施したい
- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
  - ・英語での講義を担当することになったが、不安である
  - ・研究室をうまくマネジメントできない

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のコンサルティングサービスのウェブページ (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\_program/consulting.html) にて、随時受け付けています。》



### 限定 蛋白質研究所 FD研修会

講師：各回によって異なる

**吹田** 又は **オンライン** 隔月 1回程度 (日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☐tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部署構成員宛てメールにて通知予定。》



### メディア授業講習会

講師：白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)  
竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)



**オンライン** 2022年4月1日～2023年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、メディア授業のコース作成方法の修得を目的に、授業支援システム CLE および各種システムの活用方法を学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### 授業支援システム(CLE)入門講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)



**オンライン** 2022年4月1日～2023年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システム CLE でのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### 授業支援システム(CLE)応用講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)



**オンライン** 2022年4月1日～2023年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》



※掲載内容は2月8日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### オンラインビデオ教材作成法（Echo 編）

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)  
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)



**オンライン** 2022年4月1日～2023年3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できる Echo360 社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の 2 画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。

\* 受講の際は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（Windows もしくは Mac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

\* ご自身のCLE のコースをお持ちでない教職員の方は、別途 Echo 窓口（echo360@celas.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。

《 問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@celas.osaka-u.ac.jp 》

《 申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

定員

受講時間

使用言語

研修形式

限定 産業科学研究所

### 総合解析センター説明会（機器分析講習会）

講師：鈴木健之（産業科学研究所 准教授）  
他 9 名

吹田 **オンライン** 4 月（実施日未定）13:30-16:30

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《 問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター ☐cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp 》

《 申込方法：電子メールにて所内等へ通知 》

### 産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：< 共創機構 >

北岡康夫(機構長補佐/イノベーション戦略部門長)

奥田英一郎(イノベーション戦略部門 知的財産室長)

神谷俊行(共同研究支援室長)

井上隆弘(産学官連携オフィス オフィス長)

松行輝昌(イノベーション戦略部門 人材育成室長)

< ゲストスピーカー >

講師調整中(医学系研究科)

谷口正輝(産業科学研究所 教授)

水原善史(大阪大学ベンチャーキャピタル(株)投資部第 1 グループリーダー)

**オンライン** 9月20日、27日 各日16:00-18:00

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《 問合せ先：共創推進部 共創企画課 総務係 ☐kyousou-kikaku-soumu @office.osaka-u.ac.jp 》

《 申込方法：【期日】8月24日(水)17:00

【申込方法】マイハンダイより申込み ☐https://my.osaka-u.ac.jp/admin/sangaku/ccb/shinnin

【申込時記載事項】所属、役職、氏名(ふりがな)、連絡先(メールアドレス、電話番号)、受講を希望する講座番号 ※「新任教員研修としての受講」の場合は、受講状況の管理のため、必ず阪大「個人ID(半角英数字)」をお知らせ願います。》

限定 微生物病研究所

### RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening(言語文化研究科 非常勤講師)

吹田 又は **オンライン** 8月～9月に4回開催予定

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉英語による研究プレゼンテーションについて基礎から学びます。またプレゼンテーションスキルだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。(新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンライン形式での実施に変更となる可能性があります。)

《 問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☐kikaku@biken.osaka-u.ac.jp 》

《 申込方法：開催約1ヶ月前にメール通知後、メールによる参加受け 》



## 研究能力 開発プログラム

.....  
学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

.....  
◎ 受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎ 本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

.....  
※掲載内容は2月8日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

定員

受講時間

使用言語

研修形式



## 研究能力 開発プログラム

**限定** 生命機能研究科(兼任教員在籍の他理系部局含む)

### 生命機能研究科コロキウム (FBSコロキウム)

講師：年間予定表に準ずる(下記 URL 参照)

<https://www.fbs.osaka-u.ac.jp/ja/news/detail/587>

**オンライン** 毎週1回 木曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉このセミナーシリーズは、週一回のランチタイムに生命機能研究科関係者、研究室ごと(入れ替わり)で、最新の研究を紹介し、研究内容や課題を共有し研究交流促進が図られています。お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合先：生命機能研究科 企画広報室》 [✉ fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp](mailto:fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：上記問合先へ申し込み、視聴すること。》

300名  
まで 0.75時間  
まで 日本語/  
English オンライン

**限定** 蛋白質研究所

### 蛋白研コロキウム

講師：各回により異なる

**吹田** 又は **オンライン** 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部署構成員宛てメールにて通知予定。》

各回60名  
程度 各回  
1時間程度 日本語  
 対面又は  
オンライン

## アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

**吹田** 又は **オンライン** 毎月1回(3月と8月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制(メールで申込)。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし 1時間 日本語/  
English 対面又は  
オンライン

**限定** 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

### 不正防止について

講師：岡田雅人(微生物病研究所 所長)

**オンライン** 4月中旬～(適宜)

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われる。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知。受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし 0.33時間 日本語/  
English オンライン

**限定** 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター及び医学系研究科

### 微研集談会

講師：各回により異なる

**吹田** 又は **オンライン** 毎月第4火曜日(1、8、12月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReC に所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーである。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む。》

制限なし 1時間 日本語/  
English 対面又は  
オンライン

## オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープン アクセス支援

講師：図書館職員

**オンライン** 2022年5月中旬～2023年3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌(いわゆるハゲタカジャーナル)の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 [✉ kikaku@library.osaka-u.ac.jp](mailto:kikaku@library.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：事前申込は不要です。大阪大学 CLE にて動画を配信するので、受講後に所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

制限なし 1時間 日本語  
 オンライン

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月8日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



## 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

## 阪大ブランドの発信地としての大学博物館

講師：橋爪節也(総合学術博物館 教授)  
辻野博文(総合学術博物館 准教授)

**豊中** 6月14日 13:30-15:00

〈キーワード〉大学博物館、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用しています。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考えます。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 [✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月～5月頃に受講者募集に係る通知を予定。》

## オンライン時代の研究広報とアウトリーチ

講師：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター 特任教授)

**オンライン** 6月24日 15:00-16:00

〈キーワード〉研究広報、アウトリーチ、オンライン

〈概要〉2020年初頭から現在に至るまで「コロナの時代」となり、大学の教育・研究活動も変化を強いられてきました。その中でも研究を発信する広報活動やアウトリーチは特に影響を受けた分野です。このオンラインを前提にした研究情報発信について、筆者がここ2年ほどの間に経験した好例・悪例を語ります。オンラインでの研究成果の発信や一般向けのイベントを計画する方の参考になれば幸いです。

《問合せ先：免疫学フロンティア研究センター 企画室 [✉ j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp](mailto:j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：6月20日(月)17:00までメールにて直接申し込みいただきたい。  
申込先：j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp》

- 15名
- 1.5時間
- 日本語
- 対面

- 50名
- 1時間
- 日本語
- オンライン



**限定** 産業科学研究所

## 産研安全講習会

講師：バイオセイフティー担当教員と技術職員

**吹田** 4月下旬または5月上旬 10:00-12:00、13:15-15:15

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉前半は産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。後半は産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に安全衛生講習を行います。

〈目的〉バイオセイフティー講習会では遺伝子組み換え実験、動物実験、RI実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。安全講習会ではネットワーク利用、ガス管理、工作機械取扱、電気管理などを安全に行うための講習を行います。

《問合せ先：産業科学研究所 技術室 山中卓也 [✉ t-yamanaka@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:t-yamanaka@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：3月～4月頃に電子メールにて所内等へ通知》

- 50名
- 4時間
- 日本語
- 対面

## 大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

**吹田** **豊中** **オンライン** 5月中旬～下旬

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としている。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

## 実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

**吹田** **豊中** **オンライン** 5月中旬～下旬

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

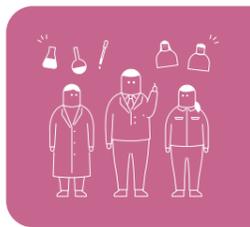
〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

- 制限なし
- 1時間
- 日本語
- 対面/オンライン

- 制限なし
- 1時間
- 日本語
- 対面/オンライン



## マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱いなど安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月8日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

### 非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 详解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



限定 蛋白質研究所

### 蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 又は オンライン 5月頃(日時未定)

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》



限定 新たに採用された教職員、研究員、前年度対象者のうち未受講者

### 令和4年度大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：西尾章治郎(大阪大学 総長)

金田安史(大阪大学 理事)

田中敏宏(大阪大学 理事)

奈良哲(大阪大学 理事)

オンライン 6月中旬

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学共創、情報セキュリティ、産学共創、男女協働推進、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。

本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課職員係 ☐ soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月前程前に、各部局等に対し受講に係る通知を发出予定。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月8日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

限定 理学研究科

### 理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

豊中 又は オンライン 6月下旬～7月上旬頃

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行う。  
ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的とする。

《問合せ先：理学研究科 人事係 ☐ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定。申込は不要。》



### ハラスメント加害者リスクを回避する方法について

講師：根岸和政(工学研究科 コンプライアンス室 講師)

吹田 オンライン 7月5日 13:30-15:00

〈キーワード〉ハラスメント、コミュニケーション、感情のコントロール、他者視点、レジリエンス

〈概要〉ハラスメントは、優越的な関係に基づいて発生します。「訴え」があった場合に、ハラスメントと認定されなかったとしても、その後の研究・教育・業務に支障を来すことが予想されます。良い人間関係を形成することで、ハラスメント加害者のリスクは減少します。また、人間の行動は、感情によって規定され、感情は、欲求・期待・希望の満足度によって規定されています。満たされない何かを抱えている時、感情・情動が暴走して、ハラスメントに至ることがほとんどです。自分の感情を上手に扱うことで、良い人間関係を形成して、ハラスメント加害者リスクを減らすことを目的としています。

ハラスメント対策について、ご意見がございましたら、お申し込み時にお書き添えください。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
☐ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



### ハラスメントを回避する方法について (被害者・傍観者にならないために)

講師：根岸和政(工学研究科 コンプライアンス室 講師)

吹田 オンライン 7月19日 13:30-15:00

〈キーワード〉ハラスメント、加害者心理、被害を未然に防ぐスキル（断る・逃げる・止める）、レジリエンス

〈概要〉ハラスメントは、人間関係における境界線の逸脱行為とも言えます。被害者・傍観者、あるいは加害者の取り巻きになることを避けるためには、境界線を越えてくる相手に対して、物理的・心理的距離を取ることが大切になります。本プログラムでは、相手との適切な距離を保ちながら、更なる研究・教育・業務が円滑に展開される一助となることを目的としています。ハラスメント防止対策について、ご意見がございましたら、お申し込み時にお書き添えください。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
☐ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

### ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

未定 7月頃（日時未定）

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、ハラスメント問題（テーマは未定）について講師よりお話をさせていただきます。

《問合せ先：総務部 総務課 法規係 ☐ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月程前に各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。》



限定 人文学研究科

### 公的研究費の使用に関するコンプライアンス教育について

講師：事務職員

豊中 9月頃（日時未定）同内容で2回実施

※新規採用職員には採用説明時にも実施

〈キーワード〉公的研究費、教員発注制度、不正使用防止、コンプライアンス

〈概要〉不正使用防止計画推進室から提供された部局等コンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一環として、説明会を開催するもの。

《問合せ先：人文学研究科 事務部 ☐ bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7～8月頃、研究科内にメール及び教授会で周知する。》



### 未定（同和問題に関するテーマで講演）

講師：未定

未定 9月頃（日時未定）

〈キーワード〉人権問題、同和問題

〈概要〉人権問題（同和問題）に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、同和問題（テーマは未定）について講師よりお話をさせていただきます。

《問合せ先：総務部 総務課 法規係 ☐ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月程前に各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。》



※掲載内容は2月8日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

